

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2005-515109 (P2005-515109A)  
 【公表日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-020  
 【出願番号】特願 2003-560342 (P2003-560342)  
 【国際特許分類】

**B 6 2 D 25/10 (2006.01)**

【F I】

B 6 2 D 25/10 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 20 日 (2007.4.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車のトランクフード（１）であって、

指示を受けて自動的に閉じ、閉鎖位置となってトランクを覆うように設計され、内面（２）を備えているトランクフード（１）において、

少なくとも 1 つの可変リンク手段（４）によって連結され、上記の内面（２）に対して遠隔位置と近接位置との間で自在に動けるように設けられたインナーマット（３）と、

内面（２）に対してインナーマット（３）が近接位置となっていることを検知し、フード（１）の閉鎖運動の停止を制御するための、少なくとも 1 個の接触スイッチ（５）とを備えていることを特徴とする自動車トランクのフード（１）。

【請求項 2】

上記のインナーマット（３）が、トランクの開口部のほぼ全面に広がっていることを特徴とする、請求項 1 に記載のフード（１）。

【請求項 3】

上記の可変リンク手段（４）を 4 つ備え、それぞれがフード（１）の各角に近い場所に設置されているとともに、

フード（１）のほぼ中央に接触スイッチ（５）を設置していることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のフード（１）。

【請求項 4】

各可変リンク手段（４）が、内面（２）とインナーマット（３）の間に設置されていることを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のフード（１）。

【請求項 5】

接触スイッチ（５）が、内面（２）とインナーマット（３）の間に設置されていることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のフード（１）。

【請求項 6】

各可変リンク手段（４）が、内面（２）から離れた位置に向けてインナーマット（３）を常に引っ張る、弾性デバイス（８）を備えていることを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のフード（１）。

【請求項 7】

各可変リンク手段（４）が、

内面（２）あるいはインナーマット（３）の一方に固定されたガイド（９）と、  
上記の内面（２）及びインナーマット（３）のうちの他方に固定されており、インナー  
マット（３）が内面（２）から離れた位置にある場合の拡張位置と、インナーマット（３）  
が内面（２）に近い位置にある場合の格納位置との間で、ガイド（９）に対して自在に  
平行移動するようになっている部品（１０）を備えていることを特徴とする請求項１から  
６のいずれか１項に記載のフード（１）。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１５

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１５】

本発明では、フード１は、内面２に設けられたインナーマット（inner mat）３を備えている。このインナーマット３は、フード１の全般的な動きに付随する。フード１が閉鎖位置にある場合、インナーマット３は、トランクの内側で、トランクの開口部となるフード１のほぼ全面に広がる。このため、トランク内、フード１の閉まらない原因となる全ての荷物が、インナーマット３と接触することとなる。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１７】

また、本発明では、フード１が、少なくとも１個の接触スイッチ５を備えている。この接触スイッチ５は、インナーマット３がフード１の内面２に対して近い位置（近接位置；close position）となっていることを検知し、フード１の閉鎖運動の停止を制御するものである。

【誤訳訂正４】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１９

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１９】

図１～図４に示している実施形態では、フード１は、４つの可変リンク手段４を備えている。各可変リンク手段４は、フード１の各角に近い場所で、内面２とインナーマット３との間の空間７に設置されている。また、フード１の備えている接触スイッチ５は、フード１のほぼ中央であって、内面２とインナーマット３との間に設置されている。